

日本史学習教材【キュービック・アシスト ボーカロイド ver.】

The survival of the fittest

学習方法

この教材は土屋文明の日本史情報整理マップ(サクナビクス。以下サクナビ)の項目(単元)にあわせて10～15題の設問が用意されています。その設問に随時答えていけばよいだけです。但し、以下の点を守って学習を行って下さい。

STEP 1

プリント前面または半面の問題が終了するまで音声の問題を聞き、プリントを見ながらどこの箇所をどのように問うているのかを確かめる。

いきなりサクナビを見ないで一問一答形式で始めると点数が取れなくて長続きしません。まずはサクナビの語句をどのような設問で聞いてくるのかという設問パターンをつかむことが大切です。ポイント別にまとめてあるので、最初はサクナビを見ながらきりのいい箇所までやってみましょう。なれてきたら速度を早めて聞いてみるといういですよ(速度をはやめることができるのは音声ダウンロードでき、かつ録音再生機器にスピード調節がついている場合のみです。試聴版では速度は上がりません)。最低5回やりましょう。

STEP 2

音声で指定された箇所を15分間学習し、随時だされていく設問に解答していく。その際、解答する語句がサクナビのどの位置にあったのかを常に意識しながら解答すること。

STEP1でおおよその設問と解答すべき語句がわかったはずですが、ここでは実際に、音声で収録された設問に答えてみる訓練をします。この教材は語句だけを覚えるためのものではなく、あらゆる問われ方を考慮してつくられた入試情報整理プリント(サクナビ)を覚えるための教材です。だから漫然と設問に解答するのではなく、常にサクナビのどの箇所に書かれていたかを意識して思いだし解答して下さい。これによってサクナビが映像(画像)として覚えることができるようになり、情報が引き出しやすくなります。15分間では全てを学習できないかもしれませんが、最初から完璧に学習する必要はありません。

注意 STEP2は実践的な学習なので、必ず別紙に書いて解答すること。頭の中で語句を考えたり、指で漢字を書いていたのでは漢字のミスが発見できない。

STEP 3

設問の後、1分間の見直しをせよとの指示が与えられる。その際、音声問題を止めて漢字のミスを探し、ミスがあれば直しておくこと。

このプレーヤーでは即応力が要求されるため、最初のころは自分では正しく書いたつもりでも変な漢字になっていたりします。これは、漢字を誤っておぼえているのではなく、即応力が十分でないためにおこる誤差なのです。1分間で修正できるので必ず行って下さい。なお、その修正をおこなっても間違った漢字は、誤っておぼえている可能性があるため、サクナビを見直し確認しすぐに修正して下さい。

STEP 4

音声は設問に続き解答を読み上げていくので、順次自分のサクナビで漢字を確かめながら解答をあわせていく。その際、「○○の漢字は大丈夫でしたか」との指示がある語句はその都度サクナビの漢字と照らし合わせて下さい。

基本的にはサクナビ以外のものは学習しないので、サクナビで覚えたはずの漢字が間違っていて覚えていると致命傷になります。この箇所は唯一君達の責任で行う箇所なので、慎重にやらなければなりません。なお、サクナビに書かれていない問題が出てくる場合もありますが、早稲田・慶応・立命館大学、国立二次で記述問題を出題する大学を受験するのであればそれを書き足して学習を進めて下さい。